

国道493号現道防災評価及び阿南安芸自動車道(野根～安倉)の整備のあり方について

平成30年1月24日

<目次>

1. これまでの検討経緯
2. 北川村小島地区の地すべり災害
3. 防災評価の流れ
4. 防災評価
 - 4-1. 防災上危険な箇所
 - 4-2. 国道493号現道の防災対策
5. 野根～安倉間の整備のあり方の検討

1. これまでの検討経緯

1. これまでの検討経緯

【野根～安倉間】

【平成25年12月11日】	【平成26年 2月 3日 ～平成26年 2月24日】	【平成26年 6月5日】	【平成26年 9月24日 ～平成26年10月22日】	【平成28年12月13日】	【平成30年1月24日】
第1回 四国地方小委員会	地域への 意見聴取	第2回 四国地方小委員会	地域への 意見聴取	四国地方小委員会 (状況報告)	第3回 四国地方小委員会
【審議事項】 ■計画段階評価手続きの進め方（案） ----- 1. 評価対象区間 2. 地域の現状と課題 3. 道路の現状と課題 4. 政策目標（案） 5. 意見聴取方法（案）	【意見聴取内容】 ○地域の課題 ○課題を解決するための道路の役割 ◆聴取方法 〈ヒアリング〉 対象者：関係自治体、団体、道路利用者 〈アンケート〉 対象者：地域住民、企業、道路利用者	【審議事項】 1. 前回の審議内容 2. 第1回意見聴取の結果 3. 対応方針（案）の検討 4. 第2回意見聴取方法（案）	【意見聴取内容】 ○ルート帯案 ◆聴取方法 〈ヒアリング〉 対象者：関係自治体、団体、道路利用者 〈アンケート〉 対象者：地域住民、企業、道路利用者 〈説明会〉 対象者：地域住民	【内容】 1. これまでの検討経緯 2. 北川村小島地区の被災状況 3. 防災評価必要性と今後の方針	【審議内容】 1. 国道493号の防災機能評価及び阿南安芸自動車道（野根～安倉）の整備のあり方について（高知県） 2. 対応方針（案）の検討 3. 第3回意見聴取方法（案）

平成26年8月10日に発生した小島地区の災害を受けて国道493号の防災評価を行う必要が生じた

北川村 小島地区の 崩壊発生

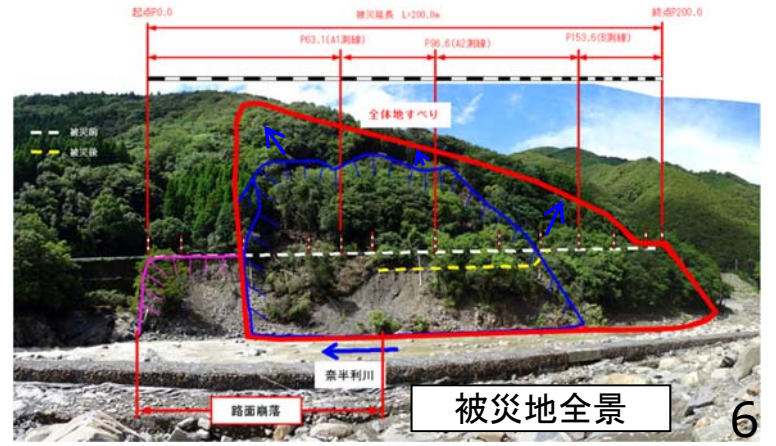
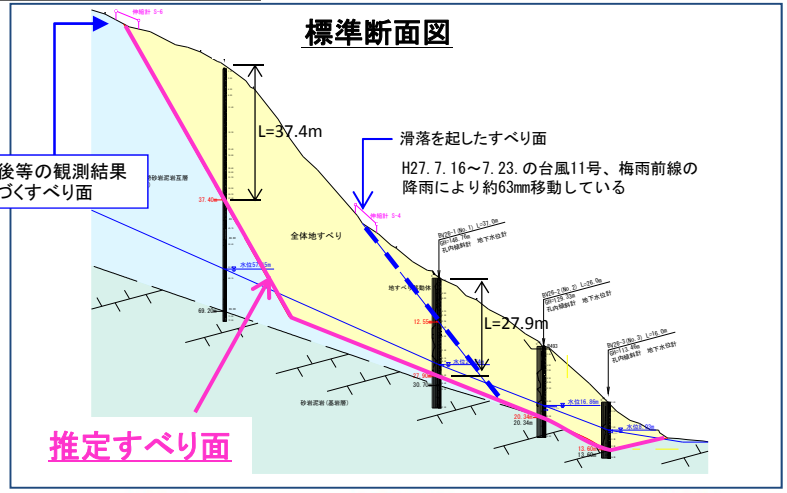
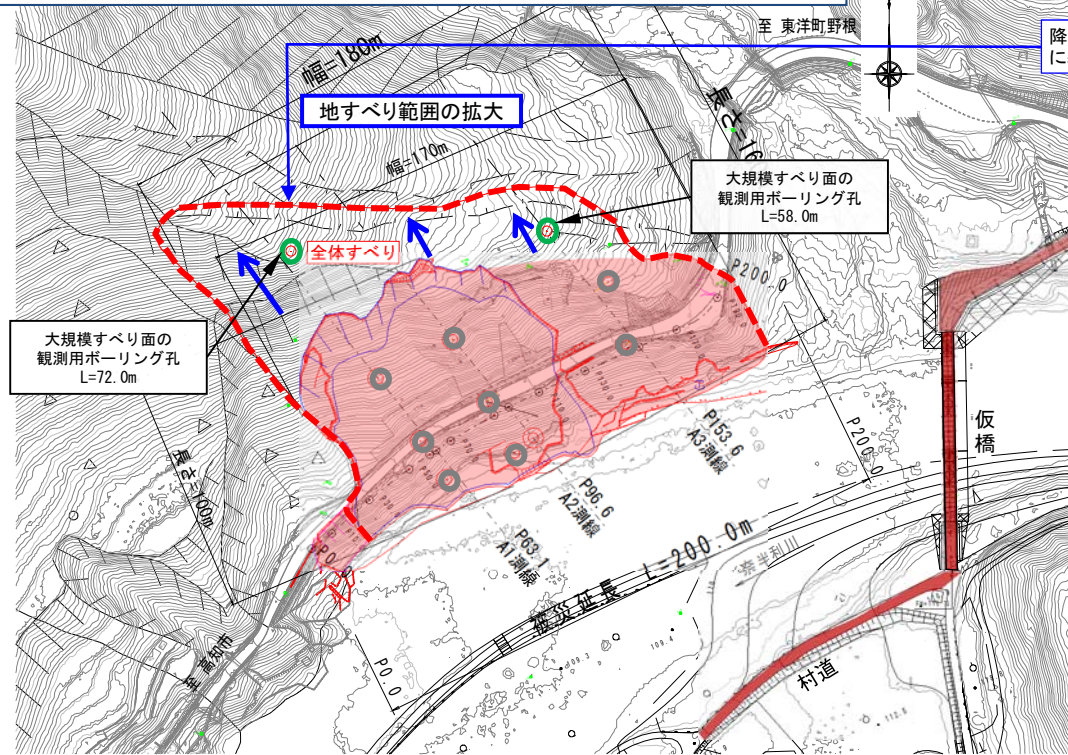
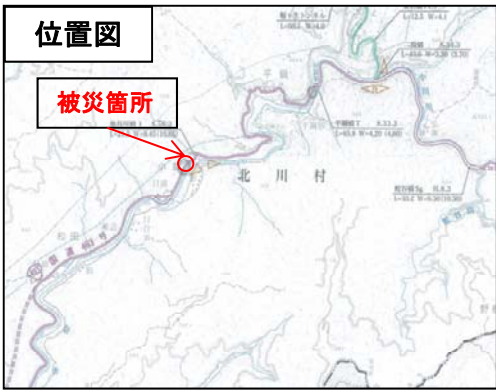


<p>平成26年8月10日</p> <p>台風12号、11号の降雨により北川村小島地区で災害発生</p>	<p>平成26年12月</p> <p>土木研究所による現地調査</p>	<p>平成27年 7月</p> <p>被災後、豪雨を経験し、すべり面を推定。大規模岩盤地滑りと判明</p>	<p>平成29年3月</p> <p>トンネルバイパスルートにより整備する災害関連事業として採択</p>
--	-------------------------------------	---	---

2. 北川村小島地区の地すべり災害

2. 北川村小島地区の地すべり災害

- 平成26年 8月 災害発生
 - 被災原因 雨量 418 mm/日、67 mm/hr
 - 被災規模 L=200m、長さ=100m
- 平成26年 8月 ボーリング調査を開始
- 平成26年11月 当初被災した地すべり上部に新たな亀裂が発生
 - ⇒ 被災規模 L=200m、長さ=160m
- 平成26年12月 土木研究所による現地調査
 - ⇒ 追加ボーリングの指示あり
- 平成27年 7月 豪雨により、すべり面を推定
- 平成28年 1月 国土交通省水管理・国土保全局防災課と災害査定との事前協議を開始
- 平成29年 2月 災害査定
- 平成29年 3月 災害関連事業として採択（トンネルバイパスルート）



2. 北川村小島地区の地すべり災害

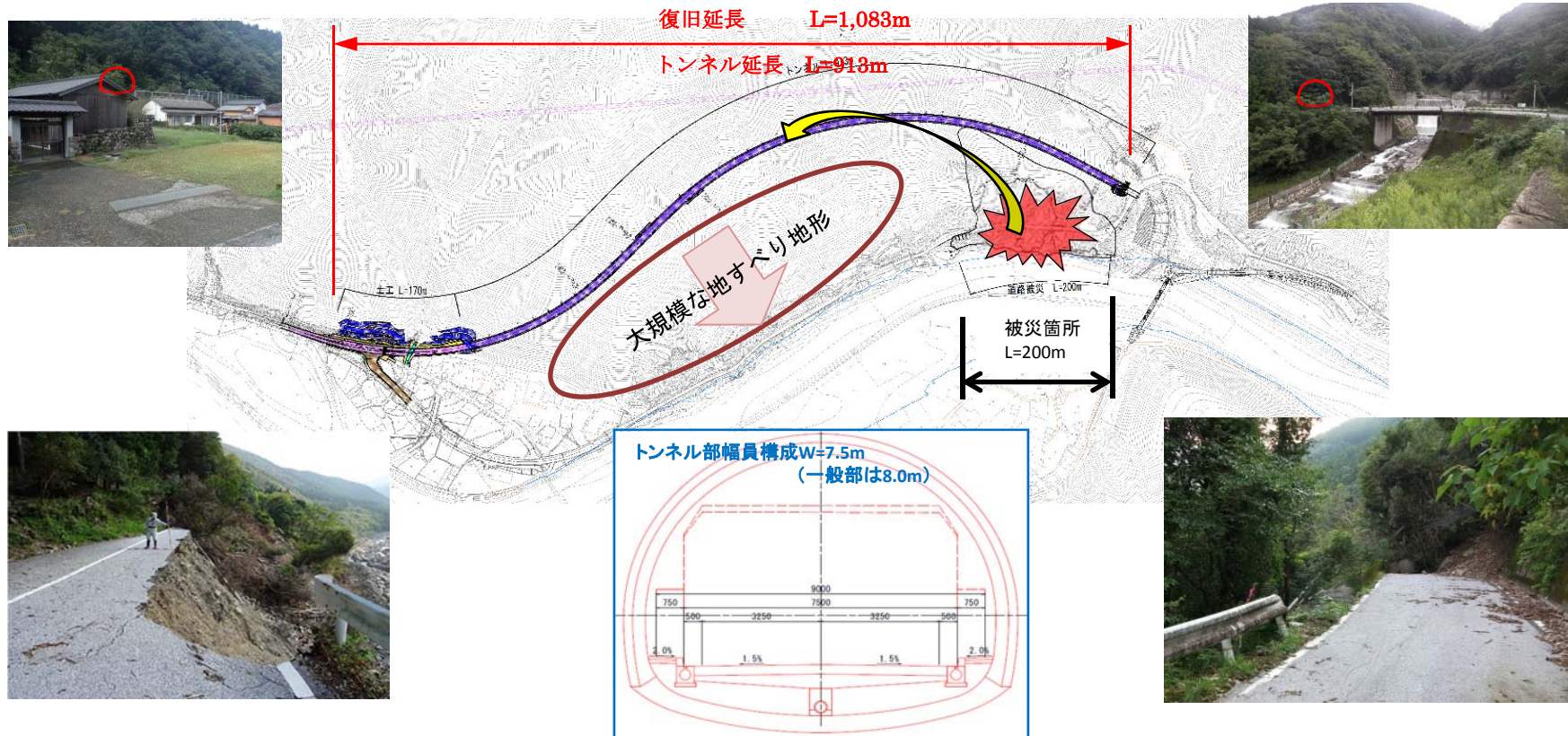
【H29災 一般国道493号道路災害関連事業】

事業主体: 高知県
事業費 : 約43億円

事業箇所: 高知県安芸郡北川村小島地内
延長 : L=1,083m(うちトンネル913m)

道路幅員: W=8.0m(トンネル部7.5m)

大規模な地すべり地形を回避するため、安全なトンネルバイパスルートで整備する災害関連事業として採択(H29.3)



○想定スケジュール(予定)

	H27				H28				H29				H30				H31			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
本省事前協議 (地すべり調査・協議)	地すべり調査・協議																			
本省事前協議 (改良復旧協議)					改良復旧															
災害査定					災害査定				← 工事 →											

3. 防災評価の流れ

- 防災評価は、落石に加えて、小島地区のように大規模な岩盤地すべりが発生する恐れがある箇所が国道493号の未事業化区間沿線に存在するかといった視点で評価を行う。
- 「落石」については現地点検を実施。
- 「地すべり」については地形判読後、大規模な岩盤地すべり箇所を確認するために詳細調査を実施。
- 防災評価の結果、第2回小委員会で提示されたルート帯案を含め再検討のうえ、ルート帯の提案を行う。

【落石危険箇所】

平成8年防災点検をベースに再点検

再点検結果を踏まえ、
必要な防災対策を検討

【地すべり危険箇所】

地形図等を用いた地形判読(R493全体:和田～安倉～野根)

R493現道の防災対策に影響する地滑り箇所を特定

小島地区で発生したような大規模な岩盤地すべり箇所を確認するための詳細調査を実施(ボーリング調査、傾斜計観測等)

詳細調査結果を踏まえ、必要な防災対策を検討

・国道493号防災評価のまとめ(報告) ……現道における落石・大規模岩盤地滑り危険箇所の分布等
・現道の防災対策を考慮したルート帯案を再検討のうえ提案

地域への意見聴取

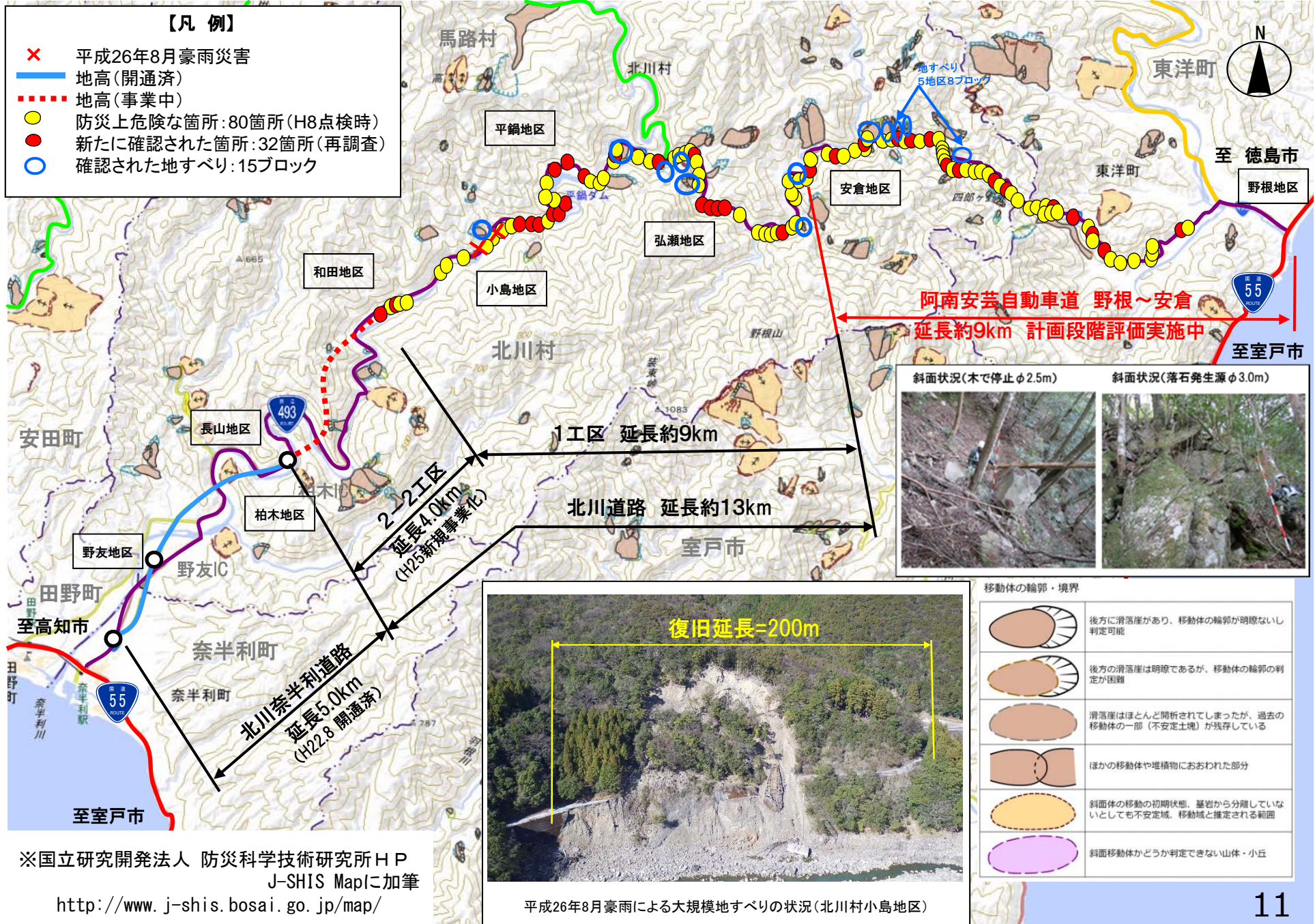
小委員会を経て対応方針を決定

4. 国道493号現道防災評価

4-1. 防災上危険な箇所

4-2. 国道493号現道の防災対策

4-1. 防災上危険な箇所



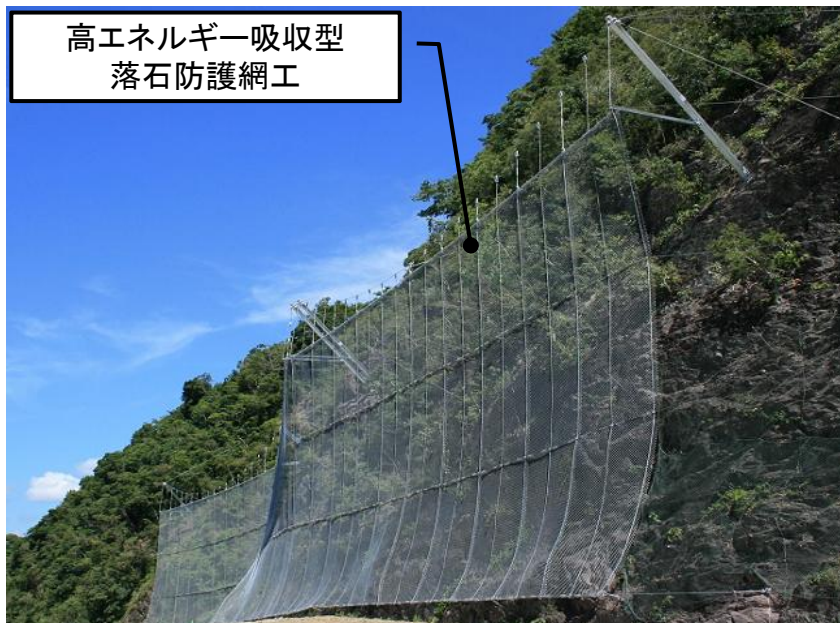
※国立研究開発法人 防災科学技術研究所HP
 J-SHIS Mapに加筆
<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>

平成26年8月豪雨による大規模地すべりの状況(北川村小島地区)

落石・地すべり (防災対策費の算出)

◆国道493号未改良区間の防災対策(落石対策・地すべり対策)には、約950億円が必要と考えられる

【野根～安倉間】 200億円(落石対策120億円、地すべり対策 80億円)
【安倉～和田間】 750億円(落石対策130億円、地すべり対策620億円)



5. 野根～安倉間の整備のあり方の検討

高知県の考え方

- ①防災評価の結果、国道493号現道の防災対策には多額の費用を要することが判明。
- ②自動車専用道路とする場合、自動車以外の通行機能を確保するため、現道を県道以上の道路としての存続が必要となり、その防災対策に莫大な費用が必要。
- ③一方、一般道とすることで、人家に接道しない現道区間を林道等として整理可能になり、抜本的な防災対策費が抑制できる。
- ④自動車専用道路ではなく、一般道路の別線ルートで整備することが望ましい。

